

**ロジスティクス環境会議  
第8回広報・普及専門委員会 議事録**

I. 日 時：2005年9月5日（月） 15：00～17：00

II. 場 所：東京・港区 （社）日本ロジスティクスシステム協会 会議室

III. 出席者：8名

IV. 議 案：

- 1) CGLジャーナル第2号編集企画（案）について
- 2) 第2回フォーラムについて

V. 開 会

小西委員長により、開会が宣された。

VI. 議 事

小西委員長の司会進行のもと、以下のとおり議事が進められた。

1) CGLジャーナル第2号編集企画（案）について

事務局より、資料1に基づき、説明が行われた後、以下のような意見交換が行われた。

**【主な意見】**

委 員：8月2日に経済産業省に提出した「改正省エネ法荷主判断基準に対する意見・要望書」の経緯やその後の経過などを掲載してはどうか。

委 員：省エネ法の解説については、法律の条文をそのまま掲載することはせず、企業が何をしなければならないのかを分かりやすく解説してほしい。

事務局：法律の条文等は該当するホームページのURLを掲載することにとどめ、ジャーナルに掲載することはしない。

委 員：グリーンロジスティクスエキスパート講座についても掲載してはどうか。

事務局：11月11日開講のため、受講者募集にはつながらないが、何らかの形で紹介したい。

委 員：CGLメンバーの中でCO2算定へ取り組んでいる企業数を紹介してはどうか。

委 員：省エネ法の報告義務が課されていない企業においても、取り組みをすすめてもらえるような情報発信を行う必要がある。

委 員：省エネ法に特化し、本ジャーナルを見れば同法の大まかな内容がわかるようになるとよいと考える。

委 員：環境会議で実施している研究会や見学会なども掲載してはどうか。

**【決定事項】**

次号については、省エネ法の内容に重点をおく構成とする。また、グリーンロジスティクスエキスパート講座の紹介や研究会の報告等も掲載することとする。

2) 第2回フォーラムについて

事務局より、資料2に基づき、説明が行われた後、以下のような意見交換が行われた。

**【主な意見】**

(開催形式について)

委 員：動員を考えるとグリーン物流パートナーシップ会議とのタイアップの方がメリットは

あるが、一方で制約を受けるのではないか。

事務局：会場以外の制約は特になく考える。

委員：会場のキャパを考えると、経団連会館よりも大きな会場で実施すべきだと考える。

委員：前回の申し込み数を勘案して会場を設定すべきではないか。

事務局：600人から700人程度収容できる会場を探してみる。

(内容について)

委員：全体の時間はどのぐらいか。

委員：休憩時間も含めて4時間程度と考える。

委員：産業界全体で環境負荷低減に取り組んでいく必要があることを情報発信するとなると、パネルディスカッションだけではなく、講演等もあったほうがいいのかと個人的には思う。

事務局：基調講演となると産業界に影響力のある人にご講演いただく必要がある。例えば張会長にご講演いただければインパクトは大きいと考える。

委員：依頼することは可能だが、J I L Sの新年賀詞交歓会等の他行事との兼ね合いもあるので、まずJ I L S側で検討してほしい。

委員：第一部と第二部で2時間ずつ行う必要があるのか。第一部を1時間30分とし、第二部を2時間30分として、基調講演を1時間、パネルディスカッションを1時間30分にしてはどうか。

事務局：検討する。

委員：第一部でも省エネ法の内容の紹介が出るのであれば、あえて二部構成にしなくてもいいのではないか。

事務局：役所側は法律ができたので推進したいということしか言えないと思う。したがって、産業界としての意見等を第二部で発信した方がよいと考える。

委員：グリーン物流パートナーシップ会議としての立場もあると考えると、二部構成で分けて実施した方がよい。

委員：パネルディスカッションでは、最後に参加者からの質問時間を設けてはどうか。

委員：最終的にどのような情報発信をしたいのか、そこにつながるポジティブな話やネガティブな話が盛り込めればよいと考える。

委員：パネラーがそれぞれ思っていることを発信できれば、聞いている人に共感を得られると思う。そのためには、どのようなことを情報発信したいか、パネラー同士での事前の調整も必要ではないか。

委員：参加者が、「自社においてもやればできる」と思われる内容にできればいい。

委員：着荷主にパネラーとしてあがってもらうのは難しいのではないか。

委員：メーカーは発荷主でもあるが部品等の調達を考えると着荷主でもあり、通常は同一企業であっても別の部署が担当していることから、それぞれの部署の人にパネラーとして登場してもらうのもひとつの案だと思う。

#### 【決定事項】

- ・基調講演については、J I L S内部で検討する。
- ・パネルディスカッションについては、本日の意見をふまえ、事務局で全体のストーリーを考えるとともにパネラーの候補を選定し、次回委員会で提案する。

### 3)その他

#### 【決定事項】

次回委員会を10月6日(木)15時~17時にJ I L S会議室で開催することとした。

## VI. 閉 会

以上をもって全ての議事を終了し、小西委員長は閉会を宣した。

以 上